

奥寺 康彦

～ 日本人プロ第一号 ～

【PERSONAL DATA】



- ◆出身： 秋田県
- ◆生年月日： 1952年3月12日
- ◆経歴：
 - 相模工科大学付属高（現・湘南工科大学付属高）
 - ～古河電工～ブンデスリーガ・FCケルン
 - ～ヘルタ・ベルリン～ヴェルダー・ブレーメン
 - ～古河電工（東日本JR古河サッカークラブ）
- ◆個人成績
 - ・日本リーグ通算得点 39点
 - ・日本リーグ通算アシスト 20アシスト
 - ・ブンデスリーガ通算出場 234試合
 - ・ブンデスリーガ通算得点 26得点

1970～80年代、世界最高峰のリーグと言われたドイツのブンデスリーガ（1976-84年までUEFAリーグランキング1位）で活躍した初めての日本人選手である。3つのクラブを渡り歩き、計9年間プレーを続けレギュラーとして実績を残した。ヨーロッパサッカー連盟主催の国際大会に、現在でもアジア人最高となる6回出場した。1978-79年シーズンUEFAチャンピオンズカップ（現・UEFAチャンピオンズリーグ）では、アジア人として大会史上初となるゴールも記録した。その正確無比で安定したプレースタイルで、ドイツのファンからは「東洋のコンピューター」というニックネームで呼ばれ賞賛された。

帰国後は国内初のプロ契約として、古巣の古河電工（現ジェフ千葉）に復帰した。88年のソウル五輪予選で徐々に代表に復帰したが残念ながら本大会に出場できず、87/88年シーズンを最後に引退。

引退後は、Jリーグ参戦のためクラブ化された古巣の「東日本JR古河サッカークラブ」（旧古河電工）のゼネラルマネージャーに就任、96年には監督に就任した。

99年に横浜フリューゲルスサポーター有志で結成された「横浜フリエスポーツクラブ」（横浜FC）のゼネラルマネージャーに就任、2000年からは代表取締役社長を兼任し、現在は会長を務める。

その一方では、講演、サッカー教室などの活動や、テレビ、新聞、雑誌などでヨーロッパサッカーの解説も行い、日本サッカーにとどまらずヨーロッパのサッカーをサッカーファンに伝える活動をしている。

■資格

財団法人日本サッカー協会公認S級コーチライセンス

■テレビ出演

- ・日本テレビ 2006年 FIFA World Cup
- ・日本テレビ 高校サッカー
- ・WOWOW 欧州チャンピオンズリーグ
- ・WOWOW EURO2004、EURO2008、EURO2012
- ・WOWOW リーガ・エスパニョーラ
- ・JSPORTS ブンデスリーガ

■新聞

- ・東京新聞、夕刊フジ、スポーツニッポン 等

■主な著書

- ・「SOCCER ルールまるわかり 改訂版」 （高橋書店）
- ・「奥寺康彦の楽しいサッカー」 （小峰書店）
- ・「サッカーワールドカップ大百科」 （勤文社）
- ・「<新・ひみつシリーズ> サッカーのひみつ」 （学研）
- ・「中高生のためのサッカー上達セミナー」 （ベースボールマガジン社）
- ・「ワールドカップ・スカウティングレポート」 （ザ・マサダ）
- ・「驚くほど使える世界のサッカー～足技・トレーニング」 （成美堂出版）
- ・「奥寺康彦責任編集 ワールドカップ・コンプリートガイド」 （ぴあMOOK）
- ・「オーバーラップ」 （宝島社）

奥寺康彦オフィシャルブログ：http://www.diamondblog.jp/yasuhiko_okudera/